

令和元年度競輪補助事業



実施完了のお知らせ

この度令和元年度の競輪の補助を受けて下記の事業を完了いたしました。
ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人JKAをはじめ、
協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

補助事業名：障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業

1. 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌は「肢体不自由児者への合理的配慮とは～制度はどのように変わってきているか～」と題し執筆依頼した。合理的配慮と制度や21世紀に至る制度の歴史、21世紀の制度の変遷についてまとめ、一般の方々にもわかり易いような書き方で執筆してもらった。

機関誌は障害者差別解消法の見直しの検討について、平成30年度障害福祉サービス等報酬改定等について、就業前の障害児の発達支援の無償化等について掲載した。障害児入所施設の現状について基本的視点、方向性、課題や連携を具体的に情報提供している。

障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌「療育ハンドブック」1回発行

機関誌「いずみ」2回発行



療育ハンドブック

指導誌「療育ハンドブック」

令和2年2月13日発行 B6版 108ページ 4000部

「肢体不自由児者への合理的配慮とは～制度はどのように変わってきているか～」

制度の歴史や変遷について具体的に書かれている。「合理的配慮と制度」「21世紀に至る制度の歴史」「21世紀の制度の変遷」といったような内容を掲載している。事例を交え、わかりやすく解説した内容としている。

機関誌「いずみ」

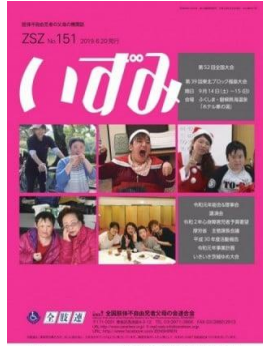
ア 令和元年6月20日発行 A4版 32ページ 2500部

令和元年度通常総会報告として事業の概要や活動方針、令和元年度心身障害者に関する予算要望、レクリエーション開催予定表、障害者福祉サービス等報酬改定について、いきいき茨城ゆめ大会などを掲載。

イ 令和元年12月20日発行 A4版 32ページ 4000部

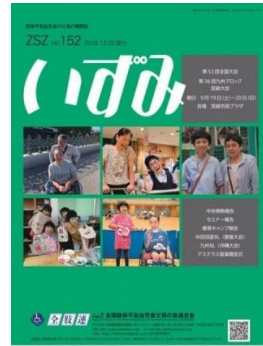
JKAの実施報告、療育キャンプ報告、アンケート集計結果、事業内容報告、中央情勢報告。

ア



いずみ No149

イ



いずみ No150

2. 障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者は歩行や座位の訓練だけでなく、集団生活を経験することで社会性や社会的自立心の向上を図る。保護者には医師及び学識経験者、専門指導員等により訓練方法や生活指導を通じて、日常生活における療育や訓練方法を習得する。また社会参加体験事業ではバスを使って外出体験や集団行動で協調性や自立性を促すことができる。障害当事者と家族、支援者(ボランティア)相互の交流・情報交換を図る。

療育キャンプ事業、社会体験事業の実施

医師や学識経験者、専門指導員による訓練や指導。社会性の向上を図るために、外出体験や集団行動でも共生を身に付ける。

療育キャンプ（日帰り）

ア	令和元年6月15日	24名	岩手県	「岩手県勤労身体障害者体育館」
イ	令和元年7月13日	59名	宮崎県	「宮崎市総合福祉保健センター」
ウ	令和元年8月31日	53名	石川県	「いしかわ総合スポーツセンター」

ア



イ



ウ



社会体験事業（1泊2日）

ア	令和元年10月26日	58名	長野県	「大芝高原 大芝荘」
---	------------	-----	-----	------------

ア



3. 地域の強化を図るための地域指導者育成セミナー

熊本地震では災害が起きても一人で逃げるができなかったり、避難所にいっても健常者と同じように生活することが困難な人が多くいた。そのため日常から周りとのコミュニケーションを密にしたり、家でも過ごすことができるような対策が必要となってくる。また行政の方の話は現状や課題について話、声を上げていく必要性が大事だとも言っていた。講師を迎え講義を行なうとともに参加者によるグループ討議を7ヶ所を実施した。

ア	令和元年9月7日～8日	22名	岐阜県	「高山市民文化会館」
イ	令和元年10月6日～7日	24名	北海道	「かでの2.7」
ウ	令和元年10月19日～20日	24名	福島県	「飯坂ホテル聚楽」
エ	令和元年10月23日～24日	39名	新潟県	「ANAクラウンプラザホテル新潟」
オ	令和元年10月26日～27日	30名	熊本県	「アークホテル熊本城前」
カ	令和元年11月30日～12月1日	28名	広島県	「広島市総合福祉センター」
キ	令和元年12月7日～8日	44名	京都府	「ホテルビナリオ嵯峨嵐山」

ア



イ



ウ



エ



オ



カ



キ

